

International Conference and Exhibition on Engineering Ceramics

1. 主催 American Society for Metals
2. 共賛 日本鉄鋼協会ほか
3. 期日 Fall of 1986 (詳しい日程は未定)
4. 場所 Denver Colorado, USA
5. Theme "Technology Transfer" among the theoretical scientists and practical engineers who fabricate and use ceramic components and coatings.
6. Abstract
 - (1) 語数: 200 語
 - (2) 使用言語: 英語
 - (3) 締切日: 1985 年 12 月 25 日
 - (4) 提出先: Donald Varanese
American Society for Metals
Metals Park
Ohio-44073
U. S. A.
7. 詳細についてのお問い合わせ先は下記の通りです。
American Society for Metals
Metals Park, Ohio-44073
U. S. A.
Telephone: 216-338-5151
Telex: METALEX MTPK 980-619

The 3rd International Conference THE SCIENCE AND TECHNOLOGY OF ZIRCONIA

1. 主催 The Ceramic Society of Japan
2. 協賛 日本鉄鋼協会ほか
3. 期日 1986 年 9 月 9 日~11日
4. 場所 東京
5. Topics
 - (1) Solid State Physics and Chemistry
 - (2) Processing for Powders, Poly- and Single Crystals
 - (3) Processing-Microstructure-Properties Relations
 - (4) Fracture Mechanics
 - (5) Structural, Electrical, Heat-Resistant and Other Applications
6. Abstract (1) 語数: 200 語
(2) 締切: 1986 年 1 月 10 日
7. Abstract の送付先ならびに詳細についてのお問い合わせは下記の通りです。
Zirconia '86, Tokyo
The Ceramic Society of Japan
2-22-17, Hyakunin-cho, Shinjuku-ku
Tokyo 160
Tel: 03-362-5231

Fifth International Conference on Mechanical Behaviour of Metals

1. 主催 The Chinese Society of Metals
 2. 期日 1987 年 5 月 18 日~22 日
 3. 場所 Beijing, China
 4. Themes
 - (1) Material Aspects of Fracture in Engineering Practice
 - (2) Fatigue Criterion and Material Characterization
 - (3) Environmental Effects on Fracture
 - (4) High Temperature Deformation and Failure
 - (5) Mechanical Properties and Engineering Application of Composite and Non-metallic Materials
 5. 公用語 英語
 6. Abstract (1) 語数: 1,500 語程度
(2) 使用言語: 英語
(3) 締切日: 1986 年 1 月 15 日
 7. Abstract の送付先ならびに詳細についてのお問い合わせは直接下記宛にお願いします。
Conference Secretariat ICM-5
Prof. Fu Junzhar
The Chinese Society of Metals
46 Dongsixi Dajie
Beijing, CHINA
Telex: 22461 MIEC CN
Cable: 2250 Beijing Tel.: Beijing 553768
- なお, 1st circular をご希望の方は本会国際課 (03-279-6021) までご連絡下さい。

The 8th International Conference on Nondestructive Evaluation in the Nuclear Industry

1. 主催 American Society for Metals
2. 期日 1986, Fall (詳しい日程は未定)
3. 場所 Orland, Florida, USA
4. 会議の目的
To Promote development of NDE methods and solve problems within the nuclear industry
5. Abstract (1) 語数: 400~600 語
(2) 締切日: 1986 年 1 月 1 日
(3) 提出先: Donald V. Varanese
Manager
ASM Technical Divisions
Metals Park, Ohio 44073
U. S. A.
6. 詳細についてのお問い合わせ先
American Society for Metals
Metals Park, Ohio 44073 U. S. A.
Telephone: (216) 338-5151
Telex: METALEX MTPK 980-619

第 6 回日向方斉学術振興交付金の希望者募集案内

申込締切日・昭和 61 年3月7日(金)

本会では住友金属工業株式会社から取締役会長日向方斉氏の功績記念のため寄贈された金五千万円の資金をもつて鉄鋼関係学術振興のため「日向方斉学術振興交付金制度」を設置しておりますが、標記の通り募集をすることになりました。希望者は所定の申請書様式（本協会にご請求下さい）により応募して下さい。

記

1. 本制度の目的

大学、研究機関等にいる鉄鋼関係の若手研究者が海外で開催される国際研究集会（これに準ずるものを含む）に優れた研究成果を発表するために必要な渡航費等を支弁することを目的とする。

2. 応募資格

1) 国公立の大学、工業高等専門学校等または国公立研究機関（特殊法人を含む）に在職中または在学中の本会会員（正会員、学生会員）で、2) 国際研究集会の開催時の年齢が満 40 歳未満でありかつ、3) 本会会誌またはその他の学術的刊行物に研究成果の発表をしたことのある者。

3. 対象国際研究集会

昭和 61 年 7 月から昭和 62 年 6 月までに開催される国際研究集会で技術分野は、本会が春秋に行っている講演大会の範囲の集会、尚原則として同一の国際研究集会に複数名は出席できないことになっております。

4. 支弁する交付金の内容

1) 航空運賃（必要最少限のエコノミー料金）、2 滞在費（集会開催日の前日から終了日の宿泊まで）、3) 参加登録費

5. 申請方法

本会所定の申請書様式により本人が申請する。

„記入内容の概略”

1. 住所、氏名、生年月日、所属職名、正会員・学生会員の別
2. 過去の研究業績（本会会誌またはその他の学術的刊行物への投稿論文、共著者名記載）
3. 出席する国際研究集会の名称、主催者、会期、開催地
4. 発表する論文の主な内容（共著者名記載）
5. 参加資格（座長、招待講演者、一般講演者等の別）
6. 必要経費の概算額
7. 他機関への旅費等の申請の有無

6. 交付件数

5 件以内

7. 受給者の義務

1. 出席報告書の提出（原則として会誌「鉄と鋼」に掲載）
2. 発表論文の提出（著作権上可能な限り会誌「Trans. ISIJ」に掲載）

8. 申請書様式請求先及び申請書提出先

〒100 東京都千代田区大手町 1 丁目 9 番 4 号 経団連会館 3 階
社団法人 日本鉄鋼協会 総務部 庶務課 (Tel. 03-279-6021)

9. 申請書締切日

昭和 61 年 3 月 7 日 (金)

10. 交付決定通知

交付決定者には昭和 61 年 4 月 11 日までに通知し、本会会誌に氏名、発表論文題目、発表する国際研究集会名を掲載する。

第 5 回日向方斉学術振興交付金受領者決定のお知らせ

この度選考委員会及び理事会において下記 7 名に第 5 回日向方斉学術振興交付金を交代することに決定しましたのでお知らせします。

前 田 正 史	東京大学生産技術研究所第四部講師 第 5 回国際鉄鋼会議 1986 年 4 月 6 日～9 日	ワシントン	アメリカ
村 山 武 昭	九州大学工学部鉄鋼冶金学科助教授 第 5 回国際鉄鋼会議 1986 年 4 月 6 日～9 日	ワシントン	アメリカ
伊 藤 公 久	東北大学選鉱製錬研究所助手 第 5 回国際鉄鋼会議 1986 年 4 月 6 日～9 日	ワシントン	アメリカ

(次ページへつづく)

国 定 京 治	鉄鋼短期大学講師 第5回国際鉄鋼会議 1986年4月6日～9日	ワシントン アメリカ
田 中 敏 宏	大阪大学工学部冶金工学科助手 第5回国際鉄鋼会議 1986年4月6日～9日	ワシントン アメリカ
森 謙一郎	京都工芸繊維大学助手 第2回工業的成形加工の数値解析法に関する国際会議 1986年8月25日～29日	イヨーテボリ スウェーデン
古 屋 一 夫	金属材料技術研究所原子炉材料研究部主任研究官 第2回核融合炉材料国際会議 1986年4月13日～17日	シカゴ アメリカ

市 村 賞 募 集 要 項

(1) 市村賞表彰の趣旨

本表彰制度は昭和43年に制定されたもので、科学技術の進歩、産業の発展、文化の向上、その他国民の福祉に関し、科学技術上貢献し、優秀な国産技術の育成に功績のあつた事業経営者ならびに技術開発者に対して、毎年故市村清氏の誕生日4月4日に表彰を行なつて、科学技術の普及啓発に資するとともに科学技術水準の向上に寄与することを目的としています。

(2) 表彰の種類

- 本 賞 賞状、賞金 (300万円)、記念碑 (原則として1件)
- 功 績 賞 賞状、賞金 (100万円)、記念碑 (原則として産業・学術の部から各2件)
- 貢 献 賞 賞状、賞金 (30万円)、記念碑 (原則として産業・学術の部から各5件)

(3) 表彰の対象と基準

(本 賞)

当技術を開発・実用化し、日本の産業分野の進展に寄与した事業経営者および技術開発者とそのグループを対象とします。

(功 績 賞)

当技術を開発・実用化し、日本の産業分野の進展に功績のあつた技術開発者とそのグループを対象とします。

(貢 献 賞)

当技術を開発・実用化し、日本の産業の進展に貢献した技術開発者とそのグループを対象とします。

(4) 推 薦 者……関係機関に推薦を依頼するとともに、広く一般からも募集。(自薦、他薦いずれでも可)

(5) 申 込 手 続……(提出書類)

必要書類	①「市村賞受賞候補推薦書(産業の部)」……2部(オリジナルとコピー)
補助書類	① 会社の概要、経歴書、受賞候補者の履歴書…2部 (コピーで可) ② 内容説明書、論文、報告書、図面、写真等審査に参考になるもの……2部 (コピーで可) ③ 特許の写し、文献、新聞記事、型録等審査に参考になるもの……2部 (コピーで可)

(6) 申 込 件 数……同一企業からのお申し込みは、表彰申込区分AおよびBについて、それぞれ1件までとします。ただし表彰は1件です。

(7) 推 薦 受 付 期 間……昭和60年12月1日～12月20日

(8) 選 考 方 法……① 表彰申込区分Aについては、審査・選考委員会で本賞あるいは功績賞のいずれかに該当するかを決め、審査いたします。

② 審査・選考委員会での審査結果にもとづき理事会で決定し、表彰を行ないます。
なお、本表彰は原則として他の表彰をうけていないものを対象とします。

(9) 市村賞の贈呈……昭和61年4月25日(金)

(10) 記 入 要 項 市村賞受賞候補推薦書は、はじめにA(本賞および功績賞)、B(貢献賞)の表彰申込区分のAまたはBのいずれかに○を付けて下さい。

(推薦書提出先・連絡先)

財団法人 新 技 術 開 発 財 団
〒104 東京都大田区北馬込 1-26-10 電話 (03) 775-2021 (代)

全 国 発 明 表 彰 募 集 要 項

1. 本表彰事業の趣旨

本発明表彰は、皇室の発明奨励に対する特別の思い召しにより毎年ご下賜金を拝受し、そのご趣旨にそうためとくに功績顕著な発明者に恩賜発明賞を贈呈し、あわせて優れた発明、考案および意匠の完成者、その実施者および発明奨励に関する功労者を表彰することにより、わが国の科学技術の向上と産業の発展に寄与することを目的として行っているものです。

2. 表 彰

(1) 発明、考案および意匠に関する表彰

選考の結果、優秀と認められた発明、考案および意匠の完成者に次の各賞を贈呈します。

恩賜発明賞（賞状およびメダル）

特別賞（賞状およびメダル）

発明賞（賞状およびメダル）

畠山一清賞

副 賞

(2) 実施に関する表彰

発明実施功労賞（賞状およびメダル）

発明実施功績賞（賞状およびメダル）

(3) 発明奨励に関する表彰

発明奨励功労賞（賞状およびメダル）

3. 発明、考案および意匠の要件

(1) 発明・考案

- ① 当該発明、考案をもとにすでに実施化され、かつ実施効果が顕著で産業の振興に寄与していると認められるもの。
- ② 同種の技術に比較して優れた特徴を有するもの、あるいは従来より懸案となつていた技術的課題を解決し新しい技術的可能性を創出することが期待されるもの。
- ③ 特許あるいは実用新案登録されているもので権利期間中であること。

(2) 意 匠

- ① 当該意匠をもとにすでに実施化され、かつ実施効果が顕著で産業の振興に寄与していると認められるもの。
- ② 同種の製品に比較して形態・機能などの構成要素が優れており、新しい意匠の潮流を形成することが期待されるもの。
- ③ 意匠登録されているもので権利期間中であること。

4. 応募の資格

- (1) 応募者が日本国籍を有すること。
- (2) 当該発明、考案および意匠で過去、叙勲、国家褒章あるいは本表彰を受けていないこと。

5. 応募の方法

応募にあたっては発明者用（考案者、意匠の創作者は同様）、実施者用、発明奨励功労者用として、それぞれ所定の調査表がありますので、作成要領にそつて必要事項をご記入の上、正副3部を発明協会本部あるいはもよりの発明協会各都道府県支部宛にご提出ください。

6. 応募受付期間

昭和60年11月1日（金）～昭和60年12月14日（土）

7. 発 表

昭和61年5月下旬（予定）応募者宛通知するとともに「朝日新聞」「月報はつめい」雑誌「発明」等で発表いたします。

8. 表 彰 式

昭和61年6月上旬（予定）

- 9. お問い合わせ先** 〒105 東京都港区虎ノ門 2-9-14 社団法人発明協会 奨励部奨励課
T E L 03-502-0511（代表）